



# ストリートチルドレン芸術祭

Art of the Children Living on the Street

—あなたがいてくれてよかった—

## 2017年度 活動報告書

(2017年4月～2018年3月)



ストリートチルドレン芸術祭

2018年(平成30)年3月

## 目次

1. ごあいさつ .....	3
2. ストリーチルドレン芸術祭とは .....	4
3. 2018年版カレンダー制作について .....	7
4. 2017年度活動概要 .....	11
5. 2017年度会計報告 .....	14
6. おわりに .....	15

## 1. ごあいさつ

2017年度は、少数精鋭でのスタートでした。学生の意欲的な発想を持ちまして、従来の壁掛けタイプに加え、卓上タイプ制作に取り組みました。結果、当初の計画通り10月に販売することができました。

2017年度は、顧問の生田目教授がベトナムへ研究出張のために、6ヶ月間不在でしたが、学生を中心に、毎月1回の代表を交えた勉強会を開催し、メンバー一同の結束を高めて参りました。その成果は、カレンダー制作及び販売、カレンダー完成報告会、ストリートチルドレン絵画展、スタディーツアー企画等の活動に表出されました。

本年度を振り返り、更なる活動の充実を図るために、2018年3月24日に行われた拡大実行委員会で検討された事項を、2018年度企画書に提案させていただきました。また、6月9日に実施された第2回拡大実行委員会では、芸術祭独自のグッズ製作やキルギススタディーツアー計画を検討します。

新たなメンバーも加わりましたので、勉強会を通してストリートチルドレン芸術祭活動の意義を共有していきます。

2018年度活動へ向けて、すでに学生中心に取り組み始めています。2019年版カレンダー用絵画も事務局に届き始めました。3,6月の拡大実行委員会で話し合われた事項を、一つ一つ確実に実行していき、ご支援ご協力下さる皆様方のご期待に応えるべく努めて参ります。

2017年度活動報告及び2018年度へ向けての活動のごあいさつとさせていただきます。

2018年6月吉日

ストリートチルドレン芸術祭代表 中島洋一郎

## 2. ストリートチルドレン芸術祭とは

今日、世界では貧困、紛争、虐待など様々な理由により住む家がないため、路上生活を余儀なくされているストリートチルドレンといわれる子どもたちが 1 億人いると言われていいます。彼らは生きるために、学校へ通うこともできず、ゴミを拾いお金に換えたり、物乞いしたりすることで日々を懸命に生きています。さらに、彼らは飢餓の危険に直面しているだけでなく、誘拐されて子ども兵として戦場に送り込まれる、臓器を奪われる、性的な被害に遭うなど、さまざまな脅威にさらされています。

『ストリートチルドレン芸術祭』が誕生したのは 2005 年のことでした。路上で暮らす子どもたちをただ単にかわいそうと見るのではなく、彼らの描く絵を通じて、彼らの存在や思い・感性・可能性を一人でも多くの人々に実感してもらえたらという願いから、ストリートチルドレンに特化した芸術祭を開催する組織として世界で初めて誕生しました。ストリートチルドレン芸術祭は有給スタッフ不在の無償ボランティア団体です。当初は熱海市立小嵐中学校の生徒・教職員のほか、各地の小中学校の教員、国際協力関係の団体職員、会社員、主婦、大学生、高校生など、内外 30 名ほどのスタッフで構成されていました。世界 100 か国以上に広がる国際協力機構（JICA）のネットワークや NGO 団体、世界の若者たちのネットワークなどの協力を得て、世界の子どもたちの絵は集められています。

東京に本部を置く『ストリートチルドレン芸術祭実行委員会』が制作するチャリティカレンダーは、ヤンキース松井秀喜選手、女優の藤原紀香ら、各界の著名人と静岡の中学生たちが、子どもたちのために掲載用の作品を無償で選出したのがはじまりでした。これまでに世界中の子どもたちから 1000 点を超える作品が寄せられてきました。ここで得られた収益はストリートチルドレン支援をしている現地 NGO 協力のもと、こどもたちの自立支援や生活改善、学校へ行くための費用などに活用されています。

そして、芸術祭の趣旨に賛同した東北福祉大学・生田目学文ゼミが 2007 年からカレンダー作りに参加したのが、私たち東北支部のはじまりです。3 年間のゼミ内での活動を経て 2010 年からは大学公認の国際ボランティアサークルとして、より多くの学生が活動に加わり、活動範囲も広がりました。また 2011 年からは、多くの方々にご協力いただきながら、東北支部の学生が主体となってカレンダー制作、販売ならびに世界中の子どもたちが描いた絵の展示会などを行っております。

2005 年から活動が始まったストリートチルドレン芸術祭は今年で 13 年目を迎え、東北福祉大学が参加し始めて 11 年目になります。2018 年度も、チャリティカレンダー制作や原画展、イベント参加等による啓発活動を通して、ストリートチルドレンや世界中で支援を必要としている子どもたちの思いや存在を、ひとりでも多くの方々へお伝えし、活動の更なる発展を目指していきたいと考えております。

## ○活動の趣旨

この一枚の絵は、私たちストリートチルドレン芸術祭の活動の原点です。

「将来自分が住みたい家」というテーマで、多くの子どもは田園風景に広がる小さな家を描く中、彼だけが、お母さんのお腹の中にいる胎児を描きました。彼は、「だって自分が15年間生きてきた中でここが一番安全だから…」というコメントを寄せました。



作者：ジェイソン（男子）

（2005年作品 提供時15歳）

国：フィリピン

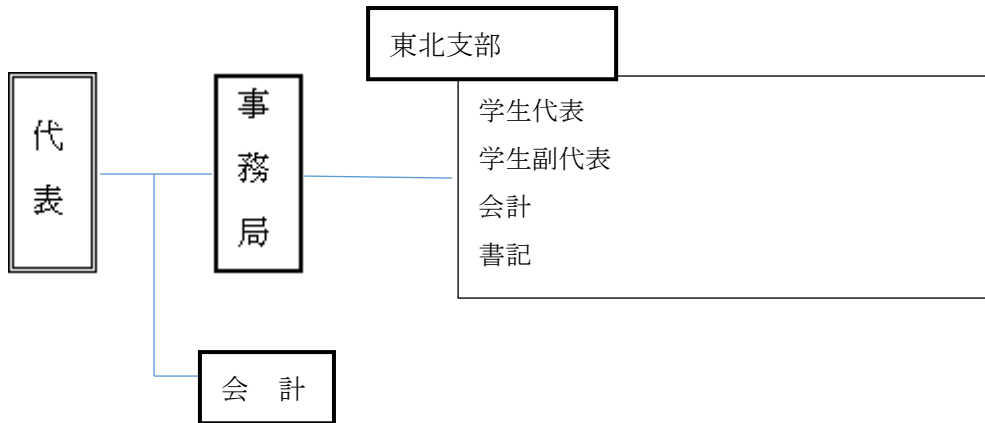


## 『世界の子どもたちが安心して暮らせる安全な環境』

ストリートチルドレンをはじめ様々な困難な環境のもと生きている子どもたちが描く絵を通して、彼らの存在、思い、可能性をより多くの方にしっていただき、世界の子どもたちが安心して暮らせるような環境づくりのための支援活動を行うことを目的としています。

○組織概要

ストリートチルドレン芸術祭組織図



ストリートチルドレン芸術祭の活動運営主体は、東北支部（東北福祉大学国際ボランティアサークル）です。

### 3. 2018年版チャリティカレンダー制作について

私たちは路上生活を強いられているストリートチルドレンと呼ばれる子どもたちの支援を行うことを目的とし、チャリティカレンダーを制作しています。

2017年版チャリティカレンダーのテーマは「自分自身を描く～自分の姿や生活・人生を表現しよう～」です。今まで数多くのストリートチルドレンの子どもたちに絵を描いてもらい、彼らの思いが詰まったカレンダーを制作してきました。そんな絵を描いてくれている子どもたちはどのような環境で生活を送っているのでしょうか。子どもたち自身が感じているありのままの姿をたくさんの人に知ってもらうことで、自分自身を描いてもらうことで少しでもその実情を知ることが出来ると思います。子どもたちを支える力が大きくなることを願っています。

今回、子どもたちが描いた数多くの絵の中から、カレンダーに掲載した、表紙・各月を合わせた13枚の絵を、各界の著名人や国際協力・支援に携わっている方など、幅広い分野の方々13名に選んでいただきました。また、子どもたちが描いた絵に対してのコメントもいただき、併せて掲載させていただきました。

子どもたちの思いや、絵を選考していただいた方々の思いを、是非受け取っていただきたいです。

#### ○2018年版チャリティカレンダー 絵の使用国

チベット子ども村 [TCV] (インド・ダラムサラ)
愛センター (カンボジア)
子どもたちの希望の家 (インドネシア)
エクマットラ (バングラデシュ)
Zambia Children New Life Center (ザンビア)

2018年版チャリティカレンダーの制作に伴い、上記の5カ国5施設の絵を使用し、選考に使われた絵は合計107点でした。

○2018年版チャリティカレンダー 選考者紹介

月	選考者	活動内容
表紙	ストリートチルドレン芸術祭	ストリートチルドレンへの支援
1月	尾木 直樹さん	教育評論家
2月	伊達 みきおさん (サンドウィッチマン)	お笑い芸人
3月	東北楽天ゴールデンイーグルスさん	プロ野球団
4月	平瀬 智行さん	ベガルタ仙台アンバサダー
5月	イルカさん	シンガーソングライター・絵本作家 IUCN 国際自然保護連合親善大使
6月	富澤 たけしさん (サンドウィッチマン)	お笑い芸人
7月	トライアングルさん	国際支援活動団体
8月	きむら ゆういちさん	絵本童話作家
9月	熱海市立熱海中学校	中学生
10月	榎木 孝明さん	俳優業
11月	井上 博さん	社会福祉法人
12月	中島 康志さん (ドナルド・マクドナルド・ハウスせんだい)	マネージャー

2018年版チャリティカレンダーに使用された絵は、上記13名の方に選考していただきました。



## ◎2018年版チャリティカレンダーのご紹介

### ◎壁掛けタイプ



### ◎卓上タイプ



### ◎2018年版チャリティカレンダー

- ・壁掛けタイプ

見開き A3 サイズ、全 14 ページ

- ・卓上タイプ

プラスチックケース、A5 サイズ、全 14 枚



©2018年版チャリティカレンダー 表紙

作品のタイトル： 「イードのときみんなで見えた空」

作者： シャティちゃん (11歳・女の子/バングラデシュ)

絵を描いた理由： いつか見た空が思い出に残っているからです。

絵を見てくれた人へ： イードのときのとても楽しい様子を想像してくれたら嬉しいです

## 4. 2017年度活動概要

### ① せんだい地球フェスタ

毎年宮城県仙台市で行われる、様々な国際交流・国際協力団体が集まるイベントです。こちらでは原画、歴代カレンダーの展示に加え、2018年版カレンダーの予約や子どもたちの絵を使ったパズルや国旗のカードゲームなど子どもたちが遊べるブースを出展しました。

開催日時：2017年9月18日(月・祝) 場所：仙台国際センター



### ② 東北福祉大学学園祭「国見祭」

原画展をメインに、子どもたちの絵を使ったパズル、国旗のカードゲーム、オリジナルカレンダーの作成等を実施いたしました。また2018年版チャリティカレンダーの販売も行い、学生をはじめ、多くの方々にお越しいただきました。

開催日時：2017年10月21日(土)・22日(日) 場所：東北福祉大学



### ③ 第9回くにみ街道祭り

東北福祉大学が主催する地方創生事業のイベントにてブースを設けさせていただき、原画の展示と2017年版チャリティカレンダーの販売を行いました。大学周辺地域の方々をはじめ、多くの方々にご来場いただきました。

開催日時：2017年10月29日(日) 場所：東北福祉大学 ステーションキャンパス



### ④ 渡辺大樹氏講演会

支援先の一つである Bangladesh の Ekmatra で共同代表を務める渡辺大樹さんから Bangladesh のストリートチルドレンの現状と支援について講演していただきました。

開催日時：2017年11月1日(水) 場所：東北福祉大学





⑤ 2018年版チャリティカレンダー街頭販売会

今年度も、仙台の老舗百貨店である、仙台藤崎百貨店様のご協力をいただき、街頭販売会を行わせていただきました。多くの方々にカレンダーを手にとって頂き、ストリートチルドレン芸術祭の活動について知っていただける機会となりました。

開催日時：2017年11月3日(金)・4日(土) 場所：仙台藤崎百貨店



⑥ 2018年版チャリティカレンダー完成報告会

チャリティカレンダー完成報告会では、活動報告及びカレンダー完成報告、ストリートチルドレンについてのプレゼンテーションを行いました。

開催日時：2018年1月20日(土) 場所：東北福祉大学



## 5. 2017 年度会計報告

(2017 年 4 月 8 日～2018 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
1、カレンダー売上	¥2,439,000	1、カレンダー製作費	¥964,116
2、協賛	¥330,000	2、名刺製作費	¥7,020
3、寄付金	¥15,518	3、支援金	¥500,000
4、前年度繰越金	¥1,239,822	4、イベント費	¥2,500
当期収入合計	¥4,024,340	5、郵送費	¥50,595
		6、印刷費	¥9,270
		7、会議費	¥4,935
		8、事務消耗品費	¥10,906
		9、旅費交通費	¥214,400
		10、手数料	¥3,866
		11、HP 管理料	¥34,560
		当期支出合計	¥1,802,168

当期収入－当期支出	¥2,222,172
残高(ゆうちょ口座＋現金)	¥2,222,172

### 【協賛金】

- ・なかむら歯科様 100,000 円(カレンダー購入として)
- ・EM 千葉ネット様 20,000 円
- ・アルソア様 300,000 円 + ロゴ代 10,000 円

### 【支援金】

- ・インド
- ・ザンビア
- ・モンゴル
- ・インドネシア
- ・バングラデシュ

5 か国に 100,000 円ずつ送る予定です。

## 6. おわりに

2017年度はストリートチルドレン芸術祭発足から13年目、東北福祉大学が参加してから11年目の活動でした。東日本大震災の2011年度から事務局機能を大学に移転してからも7年目となりました。

これもひとえにチャリティカレンダーを購入してくださる支援者のみなさま、寄付金等で応援してくださるたくさんの方たちの支えによるものと、心より感謝いたします。また協賛企業のみなさまは、協賛金で支援してくださるほか、子どもたちの原画を使った展示会も開催してくださるなど、この活動の情報発信にもご協力いただいています。

そして、世界中の子どもたちの絵を送ってくださっている世界各地の支援団体のみなさま、厳しいスケジュールにもかかわらず学生たちの活動をサポートして下さる印刷関係のみなさま、そしてスタディツアーや新入生へのカレンダー配布等でお世話になっている東北福祉大学当局の関係者のみなさまにも、心より御礼申し上げます。

冒頭の代表あいさつにもありましたように、事務局を預かる生田目がベトナムへの長期出張で不在だったため、関係者には多大な負担をおかけしました。しかし、代表の中島先生が熱海から毎月いらして勉強会を開催して下さり、また学生メンバーたちも少人数ながらより一層努力した末、前年度に初めて達成した10月学園祭前のチャリティカレンダー完成という快挙を成し遂げてくれました。また2種類のカレンダーを制作するという課題にも果敢に挑みました。新体制となる2018年度も、これまで築いてきたチャリティカレンダー制作の実績を継続し、さらに新たな試みにも果敢にチャレンジしていきます。

2018年度の活動へのみなさまの温かいご支援をお願いいたします。

2018年6月吉日

ストリートチルドレン芸術祭事務局 生田目学文

〈連絡先〉 [charity@tfu-mail.tfu.ac.jp](mailto:charity@tfu-mail.tfu.ac.jp)

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1 東北福祉大学・生田目研究室内

TEL&FAX : 022-301-1260

HP : <http://www.children-smile.com/>